



■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 運用方針 | 信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行うことを基本とします。 | |
| 主要運用対象 | ベビーファンド | 主として「スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド」の受益証券へ投資し、ボトムアップ・リサーチに基づく個別銘柄選択により、時価総額や業種等の銘柄属性にとらわれず機動的に収益機会を追求します。 |
| | マザーファンド | 金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | ベビーファンド | 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 |
| | マザーファンド | 株式への投資には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます)等の分配対象額の範囲内で、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、分配を行わないこともあります。 | |

※2014年12月から交付運用報告書と運用報告書(全体版)に
分冊化されました。本書は運用報告書(全体版)です。

スパークス・アクティブ・ジャパン

第11期 運用報告書(全体版)

(決算日 2015年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・アクティブ・ジャパン』は、このたび、第11期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都品川区東品川二丁目2番4号 天王洲ファーストタワー16階

〈お問い合わせ先〉

リテール BD マーケティング室
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

■最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | TOPIX(配当込) | | 株式組入比率 | 純資産総額 |
|-----------------|--------|------------|-----------|------------|-----------|--------|-------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | (参考指標) | 期中 騰落率 | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | 百万円 |
| 7期(2011年4月26日) | 7,060 | 0 | △ 13.4 | 1,057.43 | △ 14.5 | 95.6 | 2,015 |
| 8期(2012年4月26日) | 7,211 | 0 | 2.1 | 1,051.83 | △ 0.5 | 93.8 | 1,633 |
| 9期(2013年4月26日) | 11,289 | 0 | 56.6 | 1,541.47 | 46.6 | 94.8 | 2,193 |
| 10期(2014年4月28日) | 12,264 | 0 | 8.6 | 1,571.48 | 1.9 | 92.9 | 1,861 |
| 11期(2015年4月27日) | 17,342 | 300 | 43.9 | 2,233.09 | 42.1 | 97.0 | 2,018 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | TOPIX(配当込) | | 株式組入比率 |
|-------------|--------|------|------------|------|--------|
| | | 騰落率 | (参考指標) | 騰落率 | |
| (期首) | 円 | % | | % | % |
| 2014年 4月28日 | 12,264 | — | 1,571.48 | — | 92.9 |
| 4月末 | 12,277 | 0.1 | 1,573.78 | 0.1 | 92.6 |
| 5月末 | 12,666 | 3.3 | 1,626.62 | 3.5 | 92.5 |
| 6月末 | 13,185 | 7.5 | 1,712.30 | 9.0 | 95.8 |
| 7月末 | 13,470 | 9.8 | 1,748.81 | 11.3 | 96.3 |
| 8月末 | 13,189 | 7.5 | 1,733.76 | 10.3 | 96.1 |
| 9月末 | 13,731 | 12.0 | 1,811.98 | 15.3 | 94.5 |
| 10月末 | 14,173 | 15.6 | 1,822.08 | 15.9 | 94.6 |
| 11月末 | 14,810 | 20.8 | 1,926.93 | 22.6 | 95.1 |
| 12月末 | 15,089 | 23.0 | 1,925.54 | 22.5 | 92.9 |
| 2015年 1月末 | 15,532 | 26.6 | 1,935.98 | 23.2 | 95.2 |
| 2月末 | 16,451 | 34.1 | 2,085.33 | 32.7 | 92.3 |
| 3月末 | 17,197 | 40.2 | 2,128.30 | 35.4 | 93.1 |
| (期末) | | | | | |
| 2015年 4月27日 | 17,642 | 43.9 | 2,233.09 | 42.1 | 97.0 |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

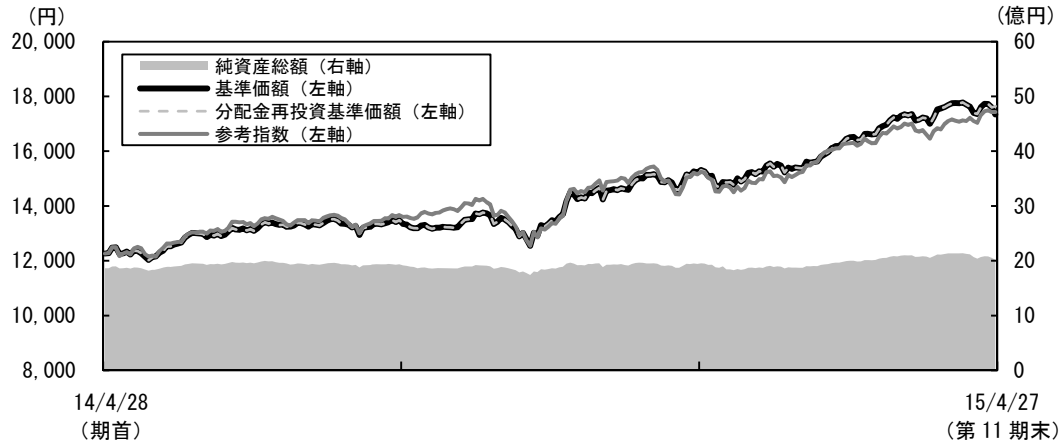
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

※ TOPIX(配当込)(参考指標)は当ファンドのベンチマークではありません。

■運用経過

1) 基準価額等の推移 (2014年4月29日～2015年4月27日)

基準価額は期首に比べ43.9%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



第11期首：12,264円
 第11期末：17,342円(既払分配金300円)
 騰落率：43.9%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドはベンチマークはありません。参考指数は「TOPIX(配当込)」です。
- ※ 参考指数は期首(2014年4月28日)の基準価額に合わせて指数化しております。

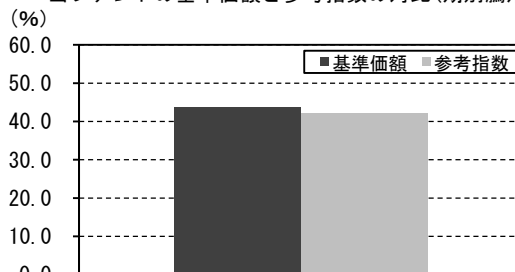
2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド(以下、「マザーファンド」)を通じて、日本の株式に投資しております。当期は日本株式市場全体が上昇したことから、良好な運用環境となりました。そのような環境下、ボトムアップ・リサーチを通じて着実に利益成長の見込める企業に絞り込んで投資をしたことが功を奏し、ファンドの基準価額の上昇率は市場の上昇率を上回る結果となりました。

3) ベンチマークとの差異

- ・当ファンドはベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は「TOPIX（配当込）」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



第11期
(2014/4/29 ~ 2015/4/27)

■投資環境

当期の日本株式市場は期初から良好な環境が続き、一時的な株価下落局面を除き、ほぼ一貫して上昇傾向が続きました。市場全体の値動きを見る上での参考指数である TOPIX（配当込）は前期末に比較して42.1%上昇しました。

当期は、成長戦略の一つであるコーポレートガバナンスの強化に向けた各種施策に注目が集まりました。日本企業の経営が高度化され、株主などの利害関係者に報いるような施策を発表する企業が増えたことが、日本の株式市場の魅力を高めることにつながったと考えられます。また厚生年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が年金の運用成果を高めるために株式への投資比率を増やしたことや、外国人投資家が日本株への投資比率を増やし始めたことから、株式の需給環境が引き締まり、株価を押し上げることとなりました。アメリカが政策金利を利上げする可能性が取りざたされたことや、紛争や疫病の流行などが一時的に株価を下落させる場面がありましたが、上昇基調は続き、日本の株式市場は15年ぶりの高水準に達しました。

■ポートフォリオ

<スパークス・アクティブ・ジャパン>

スパークス・アクティブ・ジャパンは、マザーファンドを通じて、日本の株式に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入れ比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドの上昇につれて上昇しました。

<スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド>

マザーファンドではボトムアップ・リサーチに基づく個別銘柄選択により、時価総額や業種等の銘柄属性にとらわれずにポートフォリオを構築しました。銘柄選定においては「魅力的なビジネスを安く買う」という基本方針の下、利益成長が見込める企業に投資を行いました。

当期は、業績に安定感のある企業の株価が非常に高く評価される相場環境となり、保有銘柄の中にも大幅に上昇した銘柄が複数ありました。銘柄によっては本源的な価値以上に株価が上昇したと思われるケースも発生したため、一部売却をしてこれらの業績安定銘柄の投資比率を下げました。一方で業績が回復期に入っているものの、株価の評価が低いままの銘柄が複数見られましたので、それらの業績回復銘柄への投資比率を高めました。

主な個別銘柄の事例として、新規に投資をしたのはハウスメーカーから総合的な建設業へと事業モデルを進化させている大和ハウス工業、独自の製造業向け部材販売モデルの世界展開を進めるミスミグループ本社、生活消費関連分野に強みを持つ商社の伊藤忠商事などです。一方で金融事業のオリックス、プラントエンジニアリングの日揮、インターネットサービスのヤフーなどの株を全売却しました。これら売却した3銘柄については当初想定に比べて事業の見通しが悪化したことから売却の決断をしました。

上記のような投資行動の結果、期末のファンドの組入れ銘柄数は66銘柄となりました。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスにプラスに影響したのは「無印良品」を運営する良品計画、旅行会社のエイチ・アイ・エス、「au」ブランドで通信事業を行うKDDIなどの銘柄です。良品計画は中国での成長による好調な業績を要因に株価が上昇しました。エイチ・アイ・エスは疫病により旅行需要が減少するという懸念から一時的に株価が下落しましたが、子会社のハウステンボスや、東南アジアでの店舗展開などの力強い成長に支えられ株価が反転し、プラスに寄与する形となりました。KDDIは移動通信と固定通信のセット販売など独自のマーケティング戦略によりシェアを拡大させて堅調な業績推移を遂げたことから、株価は安定的に上昇しました。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスにマイナスに影響したのはスキンケアと目薬を主力商品とするロート製薬、プラントエンジニアリングの日揮、「ハローキティ」を中心としたキャラクター商品の企画・販売を行うサンリオなどの銘柄です。ロート製薬は主力商品に育った「肌研」などのスキンケア商品が競争激化により販売が鈍化したことや、新規事業立ち上げに伴うコストが業績を悪化させていることから株価が軟調に推移しました。日揮はコスト上昇などの要因によりエンジニアリングの採算性が低下していることが懸念されて株価が下落しました。サンリオはディズニーアニメのヒットに押されシェアが低下したことなどから業績が低迷し株価が下落しました。

〔組入上位10銘柄〕

前期末 (2014年4月28日)

| | 銘柄名 | 比率(%) |
|----|-----------|-------|
| 1 | 良品計画 | 7.0 |
| 2 | エイチ・アイ・エス | 6.7 |
| 3 | ロート製薬 | 4.3 |
| 4 | リンナイ | 3.9 |
| 5 | パーク24 | 3.5 |
| 6 | クボタ | 3.1 |
| 7 | KDDI | 2.9 |
| 8 | オリエンタルランド | 2.9 |
| 9 | 大塚商会 | 2.7 |
| 10 | オリックス | 2.5 |

当期末 (2015年4月27日)

| | 銘柄名 | 比率(%) |
|----|-------------|-------|
| 1 | エイチ・アイ・エス | 4.2 |
| 2 | KDDI | 4.1 |
| 3 | セコム | 3.9 |
| 4 | 大和ハウス工業 | 3.8 |
| 5 | エービーシー・マート | 3.7 |
| 6 | 東日本旅客鉄道 | 3.6 |
| 7 | パーク24 | 3.5 |
| 8 | ミスミグループ本社 | 3.4 |
| 9 | りそなホールディングス | 3.1 |
| 10 | 日本電産 | 2.9 |



※比率は対純資産（マザーファンドベース）

■今後の運用方針

＜スパークス・アクティブ・ジャパン＞

マザーファンド受益証券の組入れ比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の成長を目標に運用を行います。

＜スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド＞

今後の運用方針としては個別企業調査を中心とした活動を通して、見通しの良い銘柄に投資をし、以前より見通しの良くなった銘柄や株価に割安感のなくなった銘柄を売却することを基本としていきます。

株式の売買のタイミングは①企業価値評価を変更した際と、②株価が大きく変動した際の二つのタイミングで行います。企業価値評価は調査活動、企業からの発表、各種報道などにより新たな情報を取得した際に見直しを行います。一方、株価変動については企業価値の変化以上に株価が大幅に上昇した場合は売却し、逆に大幅に下落した場合は買入れを行います。日々、継続した調査活動を行い、今後の成長期待が高く、株価に割高感のない銘柄を発掘し、積極的に投資をしていくことで、常にポートフォリオを改善させていきます。

調査においては大きな潮流であるグローバル化、長寿化、情報化などのテーマを基本的な着眼点として個別企業を一社ずつ調べていく活動を続けていきます。四半期ごとに調査計画を立てて活動を遂行しますが、活動の中から新たなアイデアが生まれた場合は計画に固執せずに機動的に調査対象を広げます。

個別企業を調査する上では、財務情報の分析を効率的に行う一方で、非財務情報の分析に時間を費やし、将来予測の精度を向上させるように努めます。非財務情報の中でも特に経営理念、中期ビジョン、ESG（環境、社会、企業統治）などについて着目して調査を行うことで、企業のビジネスモデルの優位性や価値創造プロセスを把握することに注力します。開示資料で読み取れない部分については、企業とミーティングをもつことで情報を収集します。

ESGについては、企業の持続的発展、事業基盤の安定性、経営の実行力などを判断する上で重要な要素と考えています。近年、企業のESGに対する情報開示が積極的になってきており、投資家が判断材料として利用できるようになってきているため、今後ますます株価への影響が強くなると予想されます。このような流れを適切にとらえるべく、分析手法を高度化させてまいります。

ファンドの投資活動としても、社会性の高い企業への投資により社会全体をより良い方向に向けていくことに貢献することを目指していきます。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■収益分配

当ファンドは、期中での運用が順調に推移したこと、基準価額が高水準で推移していることから、当期の収益分配につきましては、1万口当たり300円（税込）とさせていただきます。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳

（単位：円 1万口当たり・税引前）

| 項目 | 第11期 |
|-----------|-------|
| 当期分配金 | 300 |
| （対基準価額比率） | 1.7% |
| 当期の収益 | 300 |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 7,939 |

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第11期 2014年4月29日～2015年4月27日 | | 項目の概要 |
|--|-----------------------------------|--|--|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 290円 (139) (139) (12) | 2.02% (0.97) (0.97) (0.08) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 (株 式) | 21 (21) | 0.15 (0.15) | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用 |
| (c) その他費用 (監査費用) (印刷費用) | 10 (4) (6) | 0.07 (0.03) (0.04) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 ・法定書類等の作成、印刷費用 |
| 合 計 | 321 | 2.24 | |

期中の平均基準価額は14,314円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

| 項 目 | 設 定 | | 解 約 | |
|------------------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| スパークス・アクティブ・ ジャパン・マザーファンド | 千口 25,728 | 千円 50,945 | 千口 355,510 | 千円 644,838 |

(注) 単位未満は切り捨て。

■親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------|-------------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 2,754,378千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 1,827,473千円 |
| (c) 売買高比率(a)/(b) | 1.50 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■親投資信託における主要な売買銘柄(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

株 式

| 買 付 | | | | 売 付 | | | |
|-------------|------|--------|-------|-----------------|------|---------|--------|
| 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| 大和ハウス工業 | 28.3 | 58,878 | 2,080 | 良品計画 | 8.9 | 121,740 | 13,678 |
| ミスミグループ本社 | 17.1 | 55,733 | 3,259 | オリエントランド | 4.7 | 80,390 | 17,104 |
| アシックス | 21.4 | 47,330 | 2,211 | エイチ・アイ・エス | 24 | 80,130 | 3,338 |
| 東日本旅客鉄道 | 5.3 | 46,840 | 8,837 | リオンナイ | 7.8 | 70,058 | 8,981 |
| りそなホールディングス | 77.6 | 44,428 | 572 | ロート製薬 | 35.9 | 55,734 | 1,552 |
| 住友不動産 | 9 | 42,218 | 4,690 | クボタ | 36 | 50,133 | 1,392 |
| セコム | 5.8 | 41,420 | 7,141 | オリックス | 31.9 | 45,906 | 1,439 |
| サトーホールディングス | 15.7 | 41,394 | 2,636 | シマノ | 3.2 | 43,872 | 13,710 |
| 伊藤忠商事 | 29.4 | 39,293 | 1,336 | 三井住友フィナンシャルグループ | 9.4 | 41,741 | 4,440 |
| トヨタ自動車 | 6.4 | 37,996 | 5,936 | ブリヂストン | 9.4 | 41,106 | 4,372 |

(注) 金額は受け渡し代金。

■利害関係人との取引状況等(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■信託財産と委託会社との間の取引の状況(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■委託会社による自らが設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況

(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細(2015年4月27日現在)

親投資信託残高

| 項 目 | 前 期 末 | | 当 期 末 | |
|--------------------------|-----------------|---------------|-----------------|-----------------|
| | 口 数 | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド | 千口 1,251,475 | 千口 921,693 | 千口 2,012,425 | 千円 2,012,425 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■有価証券の貸付及び借入の状況(2015年4月27日現在)

該当事項はありません。

■投資信託財産の構成

(2015年4月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| ス パ ー ク ス ・ ア ク テ ィ ブ ・ ジ ャ パ ン ・ マ ザ ー フ ァ ン ド | 千円 2,012,425 | % 96.1 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 80,715 | 3.9 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 2,093,140 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年4月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 2,093,140,770円 |
| コール・ローン等 | 61,043,026 |
| スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド(評価額) | 2,012,425,321 |
| 未 収 入 金 | 19,672,407 |
| 未 収 利 息 | 16 |
| (B) 負 債 | 75,056,355 |
| 未 払 収 益 分 配 金 | 34,911,221 |
| 未 払 解 約 金 | 19,672,407 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 19,765,343 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 707,384 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 2,018,084,415 |
| 元 本 | 1,163,707,390 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 854,377,025 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 1,163,707,390口 |
| 1万口当たり基準価額 (C / D) | 17,342円 |

■損益の状況

当期(自2014年4月29日 至2015年4月27日)

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------------|----------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 935円 |
| 受 取 利 息 | 935 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 653,917,172 |
| 売 買 益 | 742,187,606 |
| 売 買 損 | △ 88,270,434 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 40,520,941 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A + B + C) | 613,397,166 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 225,864,091 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 50,026,989 |
| (配 当 等 相 当 額) | (119,630,967) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 69,603,978) |
| (G) 計 (D + E + F) | 889,288,246 |
| (H) 収 益 分 配 金 | △ 34,911,221 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G + H) | 854,377,025 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | 50,026,989 |
| (配 当 等 相 当 額) | (119,630,967) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 69,603,978) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 804,350,036 |
| 繰 越 損 益 金 | 0 |

<注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

| | |
|-----------|----------------|
| 期首元本額 | 1,518,191,077円 |
| 期中追加設定元本額 | 31,682,556円 |
| 期中一部解約元本額 | 386,166,243円 |

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

| 項 目 | | 第 11 期 |
|------------------------------|---|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 935円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額 | B | 261,545,897円 |
| 収益調整金額 | C | 119,630,967円 |
| 分配準備積立金額 | D | 577,714,425円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D) | E | 958,892,224円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 1,163,707,390口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F*10,000) | G | 8,239.98円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 300円 |
| 収益分配金金額 (I=F*H/10,000) | I | 34,911,221円 |

■お知らせ

下記の約款変更を行いましたので、お知らせします。

<2014年7月26日付>

- ・受益権の申込単位について所要の変更を行いました。

<2015年1月29日付>

- ・デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するため、所要の変更を行いました。
- ・信用リスク分散規制に係る所要の変更を行いました。
- ・運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド

第11期

決算日 2015年4月27日

(計算期間：2014年4月29日～2015年4月27日)

「スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド」は、2015年4月27日に第11期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|-------------|--|
| 運 用 方 針 | 主として金融商品取引所上場株式を投資対象とし、ボトムアップ・リサーチに基づく個別銘柄選択により、時価総額や業種等の銘柄属性にとらわれず機動的に収益機会を追求します。 |
| 主 要 運 用 対 象 | 金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組 入 制 限 | 株式への投資には、制限を設けません。 |

■最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | TOPIX(配当込) | | 株 式 組入比率 | 純資産 総 額 |
|-----------------|---------|------------|------------|------------|-------------|------------|
| | | 期 中 騰落率 | (参考指標) | 期 中 騰落率 | | |
| | 円 | % | | % | % | 百万円 |
| 7期(2011年4月26日) | 8,068 | △ 11.7 | 1,057.43 | △ 14.5 | 95.7 | 2,013 |
| 8期(2012年4月26日) | 8,406 | 4.2 | 1,051.83 | △ 0.5 | 93.9 | 1,631 |
| 9期(2013年4月26日) | 13,423 | 59.7 | 1,541.47 | 46.6 | 94.9 | 2,191 |
| 10期(2014年4月28日) | 14,869 | 10.8 | 1,571.48 | 1.9 | 93.0 | 1,860 |
| 11期(2015年4月27日) | 21,834 | 46.8 | 2,233.09 | 42.1 | 97.3 | 2,012 |

■当期中の基準価額と市況等の推移

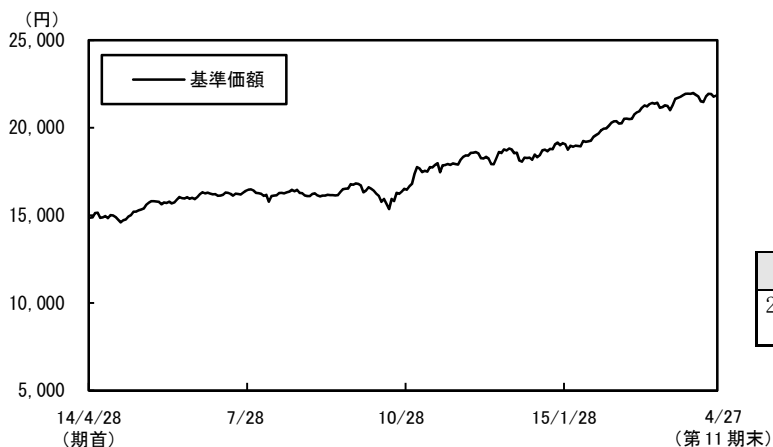
| 年 月 日 | 基準 価 額 | | TOPIX(配当込) | | 株 式 組 入 比 率 |
|----------------------|--------|-------|------------|-------|----------------|
| | | 騰 落 率 | (参考指標) | 騰 落 率 | |
| (期 首) 2014年 4月28日 | 円 | % | | % | % |
| | 14,869 | — | 1,571.48 | — | 93.0 |
| 4月末 | 14,887 | 0.1 | 1,573.78 | 0.1 | 92.6 |
| 5月末 | 15,384 | 3.5 | 1,626.62 | 3.5 | 92.4 |
| 6月末 | 16,042 | 7.9 | 1,712.30 | 9.0 | 95.7 |
| 7月末 | 16,416 | 10.4 | 1,748.81 | 11.3 | 96.1 |
| 8月末 | 16,101 | 8.3 | 1,733.76 | 10.3 | 96.1 |
| 9月末 | 16,791 | 12.9 | 1,811.98 | 15.3 | 94.4 |
| 10月末 | 17,366 | 16.8 | 1,822.08 | 15.9 | 94.6 |
| 11月末 | 18,173 | 22.2 | 1,926.93 | 22.6 | 95.1 |
| 12月末 | 18,548 | 24.7 | 1,925.54 | 22.5 | 92.8 |
| 2015年 1月末 | 19,125 | 28.6 | 1,935.98 | 23.2 | 95.2 |
| 2月末 | 20,288 | 36.4 | 2,085.33 | 32.7 | 92.2 |
| 3月末 | 21,246 | 42.9 | 2,128.30 | 35.4 | 93.0 |
| (期 末) 2015年 4月27日 | 21,834 | 46.8 | 2,233.09 | 42.1 | 97.3 |

(注) 騰落率は期首比です。

※ TOPIX(配当込)(参考指標)は当ファンドのベンチマークではありません。

■基準価額の推移

当期末の基準価額は21,834円となり、第11期の騰落率は46.8%となりました。



| 期 首 | 高 値 | 安 値 | 期 末 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 2014/4/28 | 2015/4/14 | 2014/5/19 | 2015/4/27 |
| 14,869 | 21,981 | 14,602 | 21,834 |

◆運用の詳細につきましては、2～6ページをご参照下さい。

■1万口当たりの費用の明細

| 項目 | 第11期 2014年4月29日～2015年4月27日 | | 項目の概要 |
|----------------------|-------------------------------|------------------|--|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 売買委託手数料 (株 式) | 26円 (26) | 0.15% (0.15) | (a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用 |
| 合 計 | 26 | 0.15 | |
| 期中の平均基準価格は17,531円です。 | | | |

(注1) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価格で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■期中の売買及び取引の状況(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

株 式

| | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|-------------|------------------|------------|------------------|
| | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 国 内 | 千株 | 千円 | 千株 | 千円 |
| 上 場 | 692 (44) | 1,131,658 (-) | 624 (-) | 1,622,719 (-) |

(注1) 金額は受け渡し代金。
 (注2) 単位未満は切り捨て。
 (注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------------|-------------|
| (a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額 | 2,754,378千円 |
| (b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額 | 1,827,473千円 |
| (c) 売 買 高 比 率 (a) / (b) | 1.50 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■主要な売買銘柄(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

株 式

| 銘 柄 | 買 付 | | | 銘 柄 | 売 付 | | |
|---------------|------|--------|-------|-----------------|------|---------|--------|
| | 株 数 | 金 額 | 平均単価 | | 株 数 | 金 額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| 大 和 ハ ウ ス 工 業 | 28.3 | 58,878 | 2,080 | 良 品 計 画 | 8.9 | 121,740 | 13,678 |
| ミスマグループ本社 | 17.1 | 55,733 | 3,259 | オリエンタルランド | 4.7 | 80,390 | 17,104 |
| ア シ ッ ク ス | 21.4 | 47,330 | 2,211 | エイチ・アイ・エス | 24 | 80,130 | 3,338 |
| 東 日 本 旅 客 鉄 道 | 5.3 | 46,840 | 8,837 | リ ン ナ イ | 7.8 | 70,058 | 8,981 |
| りそなホールディングス | 77.6 | 44,428 | 572 | ロ ー ト 製 薬 | 35.9 | 55,734 | 1,552 |
| 住 友 不 動 産 | 9 | 42,218 | 4,690 | ク ボ タ | 36 | 50,133 | 1,392 |
| セ コ ム | 5.8 | 41,420 | 7,141 | オ リ ッ ク ス | 31.9 | 45,906 | 1,439 |
| サトーホールディングス | 15.7 | 41,394 | 2,636 | シ マ ノ | 3.2 | 43,872 | 13,710 |
| 伊 藤 忠 商 事 | 29.4 | 39,293 | 1,336 | 三井住友フィナンシャルグループ | 9.4 | 41,741 | 4,440 |
| ト ヨ タ 自 動 車 | 6.4 | 37,996 | 5,936 | ブ リ ゼ ス ト ン | 9.4 | 41,106 | 4,372 |

(注) 金額は受け渡し代金。

スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド

■利害関係人との取引状況等(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■信託財産と委託会社との間の取引の状況(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況(2014年4月29日から2015年4月27日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細(2015年4月27日現在)

国内株式

| 銘柄 | 期首 (前期末) | 当期末 | |
|------------------|-------------|------|--------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 水産・農林業(0.5%) | | | |
| サカタのタネ | — | 4.5 | 9,468 |
| 建設業(3.9%) | | | |
| 大和ハウス工業 | — | 28.3 | 77,075 |
| 日揮 | 14 | — | — |
| 食料品(0.5%) | | | |
| 森永製菓 | — | 24 | 9,912 |
| 繊維製品(1.1%) | | | |
| 帝人 | — | 52 | 21,736 |
| 化学(9.5%) | | | |
| クラレ | — | 6.2 | 10,242 |
| アイカ工業 | — | 12.8 | 35,238 |
| 花王 | 8.2 | 8.8 | 53,301 |
| 資生堂 | 6.2 | — | — |
| ポニー・オルビスホールディングス | 3.4 | 2.1 | 13,524 |
| 日東電工 | 6.3 | 4.6 | 35,719 |
| エフピコ | 11.2 | 6.3 | 27,121 |
| ユニ・チャーム | 2 | 3.3 | 10,230 |
| 医薬品(1.3%) | | | |
| ロート製薬 | 45.1 | 14.5 | 25,201 |
| ペプチドリーム | 0.6 | — | — |
| 金属製品(0.8%) | | | |
| リンナイ | 8.7 | 0.9 | 8,325 |

| 銘柄 | 期首 (前期末) | 当期末 | |
|-------------|-------------|------|--------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| ダイニチ工業 | — | 8.8 | 6,767 |
| 機械(1.2%) | | | |
| サトーホールディングス | — | 3 | 8,076 |
| クボタ | 44 | 8 | 15,424 |
| ホシザキ電機 | 2.1 | — | — |
| 電気機器(10.6%) | | | |
| 日立製作所 | 35 | — | — |
| 東芝 | — | 73 | 35,850 |
| 日本電産 | 7.8 | 6.4 | 58,412 |
| キーエンス | 0.3 | 0.2 | 12,886 |
| シスメックス | 1.4 | 4.3 | 28,810 |
| ウシオ電機 | — | 6.7 | 10,693 |
| 日本デジタル研究所 | — | 11.8 | 20,768 |
| 村田製作所 | 1.2 | 1.2 | 20,238 |
| 象印マホービン | — | 12 | 20,160 |
| 輸送用機器(7.3%) | | | |
| トヨタ自動車 | — | 4.1 | 34,194 |
| 本田技研工業 | 6.5 | — | — |
| 富士重工業 | 17.3 | 13.3 | 54,709 |
| ヤマハ発動機 | — | 8.9 | 25,231 |
| シマノ | 4.6 | 1.6 | 27,952 |
| 精密機器(1.9%) | | | |
| テルモ | 6.4 | 8.4 | 26,502 |

スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド

| 銘柄 | 期首 (前期末) | 当期末 | |
|------------------------|-------------|------|--------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| ナカニシ | 2.5 | — | — |
| マニー | — | 1.3 | 10,322 |
| HOYA | 1.4 | — | — |
| その他製品 (5.6%) | | | |
| スノーピーク | — | 1 | 8,370 |
| ヨネックス | — | 7.9 | 14,354 |
| アシックス | — | 13.3 | 42,094 |
| ヤマハ | — | 9.8 | 21,491 |
| ビジョン | 2.3 | 3 | 9,390 |
| 任天堂 | 0.6 | — | — |
| コクヨ | — | 13.4 | 14,673 |
| 陸運業 (3.8%) | | | |
| 東日本旅客鉄道 | 2 | 6.8 | 73,440 |
| 空運業 (—%) | | | |
| 日本航空 | 5.7 | — | — |
| 倉庫・運輸関連業 (0.6%) | | | |
| トランコム | 5 | 1.9 | 10,925 |
| 情報・通信業 (9.8%) | | | |
| ポルトワイン・ビクトルホールディングス | 3.6 | — | — |
| メディアドゥ | — | 8.4 | 17,732 |
| ドワンゴ | 6.2 | — | — |
| ガンホー・オンライン・エンターテイメント | 5.9 | — | — |
| インフォコム | — | 9.4 | 9,945 |
| ヤフー | 82.5 | — | — |
| 大塚商会 | 4 | 8.7 | 47,415 |
| WOWOW | 4.2 | — | — |
| KDDI | 10.1 | 28.2 | 82,767 |
| ソフトバンク | 1.9 | 4.5 | 34,888 |
| 卸売業 (7.2%) | | | |
| 伊藤忠商事 | — | 29.4 | 42,688 |
| 内田洋行 | — | 35 | 14,210 |
| サンゲツ | — | 8.4 | 16,044 |
| サンリオ | 7.9 | — | — |
| イエローハット | 2.9 | — | — |
| ミスミグループ本社 | — | 14.8 | 68,672 |
| 小売業 (11.0%) | | | |
| エービーシー・マート | 7.9 | 10.6 | 74,200 |
| ひらまつ | 11.7 | — | — |
| セリア | 3.3 | — | — |
| スタートトゥデイ | 7.1 | — | — |
| エー・ピーカンパニー | 2.9 | — | — |

| 銘柄 | 期首 (前期末) | 当期末 | |
|-------------------------|-------------|-----------|-----------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| セブン&アイ・ホールディングス | 5.8 | 3.9 | 20,478 |
| 良品計画 | 11.6 | 2.7 | 51,921 |
| ドンキホーテホールディングス | 4.8 | 0.9 | 8,505 |
| ヤオコー | — | 2.7 | 11,745 |
| ファーストリテイリング | 0.6 | 1 | 48,050 |
| 銀行業 (3.2%) | | | |
| りそなホールディングス | 19.2 | 96.8 | 63,026 |
| 三井住友フィナンシャルグループ | 9.4 | — | — |
| 証券・商品先物取引業 (—%) | | | |
| 大和証券グループ本社 | 6 | — | — |
| その他金融業 (—%) | | | |
| 全国保証 | 6.2 | — | — |
| オリックス | 31.9 | — | — |
| 不動産業 (5.7%) | | | |
| パーク24 | 35 | 28.8 | 69,724 |
| 住友不動産 | 1 | 9 | 41,931 |
| サービス業 (14.6%) | | | |
| エプコ | 2 | — | — |
| カカコム | 11.6 | 5.6 | 10,780 |
| メッセージ | 6.5 | — | — |
| エムスリー | 19.4 | 13.9 | 33,443 |
| アミューズ | 3.7 | — | — |
| オリエンタルランド | 3.4 | 1.1 | 9,324 |
| リゾートトラスト | 6.9 | — | — |
| もしもしホットライン | — | 11.7 | 15,069 |
| ユー・エス・エス | 7.2 | — | — |
| モーニングスター | 17.6 | — | — |
| 弁護士ドットコム | — | 2.8 | 7,243 |
| アイ・アールジャパン | 2.5 | — | — |
| ライドオン・エクスプレス | — | 7.1 | 12,751 |
| リロ・ホールディング | 4 | 1.5 | 15,225 |
| エイチ・アイ・エス | 44.4 | 20.4 | 83,946 |
| セコム | 3.3 | 9.1 | 78,542 |
| 船井総研ホールディングス | — | 15.4 | 18,741 |
| 合計 | 株数 | 金額 | |
| | 677 | 790 | 1,957,841 |
| 銘柄数 < 比率 > | 67銘柄 | 66銘柄 | < 97.3% > |

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。
(注4) 一印は組み入れなし。

■有価証券の貸付及び借入の状況(2015年4月27日現在)
該当事項はありません。

スパークス・アクティブ・ジャパン・マザーファンド

■投資信託財産の構成

(2015年4月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 株 式 | 千円 1,957,841 | % 96.3 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 74,227 | 3.7 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 2,032,068 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2015年4月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------------|-----------------|
| (A) 資 産 | 2,032,068,976 円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 50,872,697 |
| 株 式 | 1,957,841,580 |
| 未 収 入 金 | 13,161,416 |
| 未 収 配 当 金 | 10,193,270 |
| 未 収 利 息 | 13 |
| (B) 負 債 | 19,672,407 |
| 未 払 解 約 金 | 19,672,407 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 2,012,396,569 |
| 元 本 | 921,693,378 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 1,090,703,191 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 921,693,378 口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 21,834 円 |

<注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了)>

| | |
|------------------|-----------------|
| 1. 期首元本額 | 1,251,475,771 円 |
| 期中追加設定元本額 | 25,728,283 円 |
| 期中一部解約元本額 | 355,510,676 円 |
| 2. 期末元本の内訳 | |
| スパークス・アクティブ・ジャパン | 921,693,378 円 |

■損益の状況

当期 (自 2014年4月29日 至 2015年4月27日)

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------|---------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 26,881,932 円 |
| 受 取 配 当 金 | 26,832,132 |
| 受 取 利 息 | 16,232 |
| そ の 他 収 益 金 | 33,568 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 718,538,253 |
| 売 買 益 | 751,502,120 |
| 売 買 損 | △ 32,963,867 |
| (C) 当 期 損 益 金 (A + B) | 745,420,185 |
| (D) 前 期 繰 越 損 益 金 | 609,393,636 |
| (E) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 25,216,913 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | △ 289,327,543 |
| (G) 計 (C + D + E + F) | 1,090,703,191 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 1,090,703,191 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■お知らせ

2015年1月29日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

- ・デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するため、所要の変更を行いました。
- ・信用リスク分散規制に係る所要の変更を行いました。